



平成 30 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 佐伯 浩一  
 (コード 7918、東証第一部)  
 問い合わせ先 企画副本部長 関川周平  
 電話番号 03-5155-6801

## 平成 31 年 3 月期 第 2 四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 15 日に公表した平成 31 年 3 月期 第 2 四半期連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 31 年 3 月期 第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	200	160	80	2.56
今回修正予想(B)	13,600	△150	△190	△230	△7.30
増減額(B-A)	△400	△350	△350	△310	
増減率(%)	△2.9	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	14,433	106	70	△354	△12.11

#### 2. 差異発生及び修正の理由

客数の増加及び原価率コントロールを目的としたメニューミックス施策を期初より実施することを予定しておりましたが、その効果をより大きくするためのマーケティング調査にコストと時間をかけ、より踏み込んだ施策設計を行なうために、施策の実施時期を9月前後に遅らせました。また、配送効率の改善とお取引先との情報共有による在庫の全体最適化、購買物流体制の抜本的見直しを進めているSCM改革において、効果発現の確実性を高めるべく、追加的に外部への業務委託を実施するなど、先行的な費用が発生いたしました。

これらの影響等により、既存店売上高は期初予想より3%程度低下し、売上高は400百万円の減額修正とし、営業利益及び経常利益は350百万円の減額修正といたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は310百万円の減額修正といたしました。

なお、通期の業績予想については、下期以降において、現在設計中のメニューミックス施策や SCM 施策の効果発現、光熱費等のコスト削減効果、新基幹システムやテーブルトップ・オーダーシステムの稼働の拡大による店舗生産性の向上、新店売上高の上ぶれ等の効果の見込みにより、期初予想を据え置いております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上